



令和2年度愛知県 地域コーディネーター等研修会

「多様な主体との連携・協働に関する知識・技術」

津島市地域学校協働本部 統括コーディネーター 相村 明人

地域と学校の協働活動におけるコーディネーターの役割と必要な知識・技術

地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンの共有を熟議で

文部科学省
国立教育政策研究所
社会教育実践研究センター刊
「地域学校協働活動推進のための地域コー
ディネーターと地域連携担当教職員の育成研
修ハンドブック」抜粋

I 体制づくり

1. 学校と地域の連携・協働に関する知識

- ①新しい教育政策（チームとしての学校等）とこれからの学校に関する知識
- ②学校・家庭・地域の連携・協働の意義
- ③生涯学習・地域学校協働活動に関する知識

2. 協働活動のシステム構築に関する知識・技術

- ①社会に開かれた教育課程の実現に向けた教育課程内外を通じた地域学校協働活動の推進に関する知識・技術
- ②計画・予算及び活動の評価に関する知識・技術
- ③研修会等の企画・運営に関する知識・技術

II 関係づくり

3. 情報の収集・提供・発信に関する知識・技術

- ①情報収集に関する知識・技術
- ②情報の提供・発信に関する知識・技術

4. コーディネート機能の充実にに関する知識・技術

- ①多様な主体との連携・協働に関する知識・技術
- ②コーディネート技法

III 活動づくり

5. 協働活動の支援に関する知識・技術

- ①コミュニケーションの基礎
- ②ファシリテーションの基礎

6. 学習プログラムの企画・評価に関する知識・技術

- ①学習プログラムの意義と内容（アクティブ・ラーニング等）
- ②地域の教育資源を活かした学習プログラムの企画・評価
- ③地域づくりに向けた学習プログラムの意義と企画



本日の学び

文部科学省 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター刊
「地域学校協働活動推進のための地域コーディネーターと地域連携担当教職員の育成研修ハンドブック」

<研修の目的>

学校支援（一方向） → **協働活動（双方向）**へ
地域のネットワークや諸団体との関係の更なる拡充に向けて

本日は、上記のテキストに準じて進めます。

<学びの目標>

コーディネーター研修プログラムの3つの柱

I 体制づくり

II 関係づくり

III 活動づくり

本日は、将来、IIIの活動づくりにつなげる目的で、IIの関係づくりの内容を学びます。

**地域資源の
精通と学校
への情報提供**

「地域の教育資源を生かした学習プログラムの企画・評価」

新学習指導要領の「社会に開かれた教育課程」です。

<学びの流れ>

1 講義（30分）

- ①先進事例について（津島市 市民協働課 統括主任 植木美千代さんより）
既に多様な主体（企業・NPO）と連携・協働体制を確立し、好事例について紹介していただく。
- ②JAの多様な組織（津島市地域教育協議会会長・JA海部東 城 和彦さん）
グループワークで企業やNPOを洗い出す際に、企業内の多様な組織にも意識して列挙できるように、事例として説明をしていただく。
- ③連携・協働体制の構築をするために（梶村）
小中学校の授業や学校行事で、地域と連携できる学びの場の情報提供をするために、各学年の教育課程（年間カリキュラム）を知り、どんな地域連携や協働活動ができるかを考え、活動の拡充を図る。

2 グループワーク（58分）**3密を意識した中学校区ごとのメンバーで**

- ① 校区にある企業やNPOを列挙しながら、どんな連携・協働ができるかを校区ごとのグループで、情報共有する。

3 まとめ・評価（10分）

●次期学習指導要領の理念;小32年~,中33年~,高34年~ 「社会に開かれた教育課程」の実現

●教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

問題を積極的に解決する、常により善くなる方法を考える、
といった主体的、対話的、探求的に学ぶ力の育成

学校教育関係者だけで、
ソサエティ5.0「超スマート社会」に生きる人材育成
や、指導要領の実現を創造することは難しい

引用：文科省HP「学び未来」より安齋CSマイスターの動画より

学校・先生 の 悩み

・外国語科の授業をどう充実させればよいか？
・日本語が話せない子への対応はどうするのか？

【グローバル化への対応】

・新型コロナウイルス感染症対策と協働活動をどう進めたらよいか？
・緊急事態宣言発令で遅れた学びの保障をどう確保するか？

【地域の学校づくり】

・「社会に開かれた教育課程」の実現はどうするか？

【新学習指導要領全面実施に向けての対応】

・プログラミング教育は、どうすればよいか？
・SNSやインターネット利用で起こる生徒指導上の課題にどう対応するのか？

【ソサエティ5.0社会への対応】



今、学校は課題が山積。どうすれば解決できるのか？

先生だけががんばる学校や
先生だけでがんばる学校では、解決が困難



学校と地域が連携・協働する
「地域とともにある学校」へ



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動
の一体的推進が必要

「これまでの学校支援の反省と、これからの協働活動」

【反省】

* 学校ニーズに応えるだけの活動では、地域づくりにはなかなか至らない

* 年1回の地域行事だけでは、顔の見える関係にはなかなか至らない

* これだけ個別のニーズに対応した社会（企業）の動きが一般的になり、従来の一方向のつながりだけでは、個別対応も地域づくりも進まない

*** 多様な主体と連携・協働する姿勢こそ、新たなつながりや関係性が生まれ、多様な世代の人を協働活動に取り込み、活動の幅も深みも広がり、新たな化学反応が生まれ、人々の充実感と地域の活性化につながる**

■ 多様な発想で繰り広げられる社会貢献活動や持続可能な地域づくりにつながる（外国人との共生のまちづくり、高齢者と子育て世代との協働活動、貧困対策、次世代育成・・・）

NPOとつながると・・・(市民協働課の話聞きましよう)

実例を元に、多様な諸団体がつながることで、どんな学びやメリット・広がりがうまれるかを学びましよう。

(津島市役所 市民協働課統括主任 植木美千代さん)

Q 1 どんな協働の相手があるか？

Q 2 NPOとは何か？

別冊資料 植木さん作成による

「進めよう！ 協働のまちづくり」を参考に、学びましよう

企業等による教育プログラムの学校等での活用の勧め

参考資料

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 ペットは大切なパートナー | 1 3 ひらめき→ときめき |
| 2 世界でたった一つのバッグを作ろう | 1 4 南極の氷って何かが違う・・・ |
| 3 滑車の原理は社会の様々な場所で大活躍 | 1 5 えっ！ここ間違い？教科書作りって大変 |
| 4 感性キラリ★余った皮がキーホルダーに！ | 1 6 スマートフォンで建築の寸法を決定！ |
| 5 昔のおもちゃ、今でも面白いネ | 1 7 薬を開発して元気な人を増やそう |
| 6 エネルギーはどこから来るの？ | 1 8 新しいデザイン考えたよ！ |
| 7 身近なところからエコ活動 | 1 9 注目されるポスターが大ヒット映画へ！ |
| 8 科学って不思議！光っているのは何？ | 2 0 将来は起業家になるぞ！ |
| 9 植物が食べ物になるのに長～い工程が必要 | 2 1 航海士になった気分で世界を旅しよう |
| 1 0 自己肯定感UP↑ | 2 2 和食の基本は出汁！ |
| 1 1 プログラミングって意外と簡単！ | 2 3 発明で社会課題を解決しよう |
| 1 2 こんな生き物知っていた？ | |

「子どもたちの夢を応援する企業等がたくさんあります！」
文科省の「**学び未来**」で検索

企業やNPOとのつながりこそ、地域活性化の出発点

子どもが「本物」と出会う場

- ・ 自分もやってみたくなる
- ・ さらに詳しく知りたくなる
- ・ 誰かに伝えたくなる
- ・ 将来やってみたくなる（夢）

<教育プログラムについて>

教育プログラムを受ける対象：未就学児、小中高学生、特別支援学校生

教育プログラム開催時間：平日の授業や放課後、土曜日、日曜日、祝祭日、夏休みなどの長期休暇など

教育プログラムの内容：理科実験、キャリア教育、環境、ものづくり、礼儀・道徳、プログラミング、スポーツ、社会・地理、食育、金融、文化・伝統、国際理解 など

「夢は出会いから生まれる」

先の見えない時代でも成長する人の共通点は、**キャリア意識が高いこと**子どもに、**夢に向かう地域人や社会人と引き合わせる**ことが

夢の実現の近道

「文科省HP学び未来より」

企業とつながると・・・(城会長よりJAの話を聞きましょう)

JA = 農業協同組合も全国組織で、内部には非常にたくさんの部署があります。TVの宣伝等で、日頃皆さんが知っているのは、プレゼンの右上の**赤字の部署**ぐらいだろうと思います。

しかし、この他にも、下の**黒字の部署**もあります。

全農の全組織を表した同心円状の表がありますが、たくさんのCSR（企業の社会的責任）を意識した地域貢献活動を推進しています。

組合員・非組合員に関わらず、交通安全教育、食育、環境教育、高齢者支援、起業支援、流通ネットワーク、災害支援・・・と、たくさんあります。

これからの小中高等学校の学びに十分対応できるネットワークがありますので、まずは、近くの**JA**に声を掛けてみてください。

「**揺り籠から墓場まで**」を網羅している**JA**です。



(揺り籠から墓場まで)



- お米、営農、種苗、花き、肥料、農薬
- グリーンセンター
- 金融、保険、融資、リース
- 青果、畜産、林業
- レストラン、Aコープ
- 生産管理
- 料理
- トラベル**
- ガソリンスタンド
- 葬祭**
- 病院（厚生連）
- 介護事業所**
- 不動産事業、賃貸住宅
- 新聞、出版**

「企業による学校応援団」

参考資料

「ふるさと科」・・・地域を愛する子どもを育てる
総合的な学習の時間を中心に

- ① 地域の特色やよさ・課題を調べる・・・企業見学
- ② 地域ブランド（にぎわい創出）の商品を開発するために
・・・会社経営の体験型学習
・体験型学習プログラム「チャレンジ！お菓子の株式会社」

(日本証券業協会)

- ③ 商品開発の実際
・・・資材や情報、技術の提供
- ④ 商品の販売
・・・売り場の提供

アントレプレナー教育(起業家教育)

2 グループワークをしましょう。

1の講義で学んだNPOや企業とのつながりによって、多くの学びを提供できたり、活動に結び付けたりすることが理解できたと思います。

次に、各校区にあるNPOや企業のつながりを探す前に、例を使って、企業間どうしにはどんなつながりがあるかを考えてみましょう。

<作業手順>

- 1 まず個人で考えながらワークシートに書き込もう。(3分)
- 2 次に、グループ内で、各自で書き出したものを順に発表し、相互に情報共有をし、気づかなかったものを記載しながら、全容を知る。(2分)
- 3 最後に、グループごとに順番に発表をして、まだ発表されていない事柄を順に発表する。(2分)

★ホテルのつながりの広さや深さを知り、理解を深める。

例として

ホテルにはどんなサプライチェーンがあるだろう

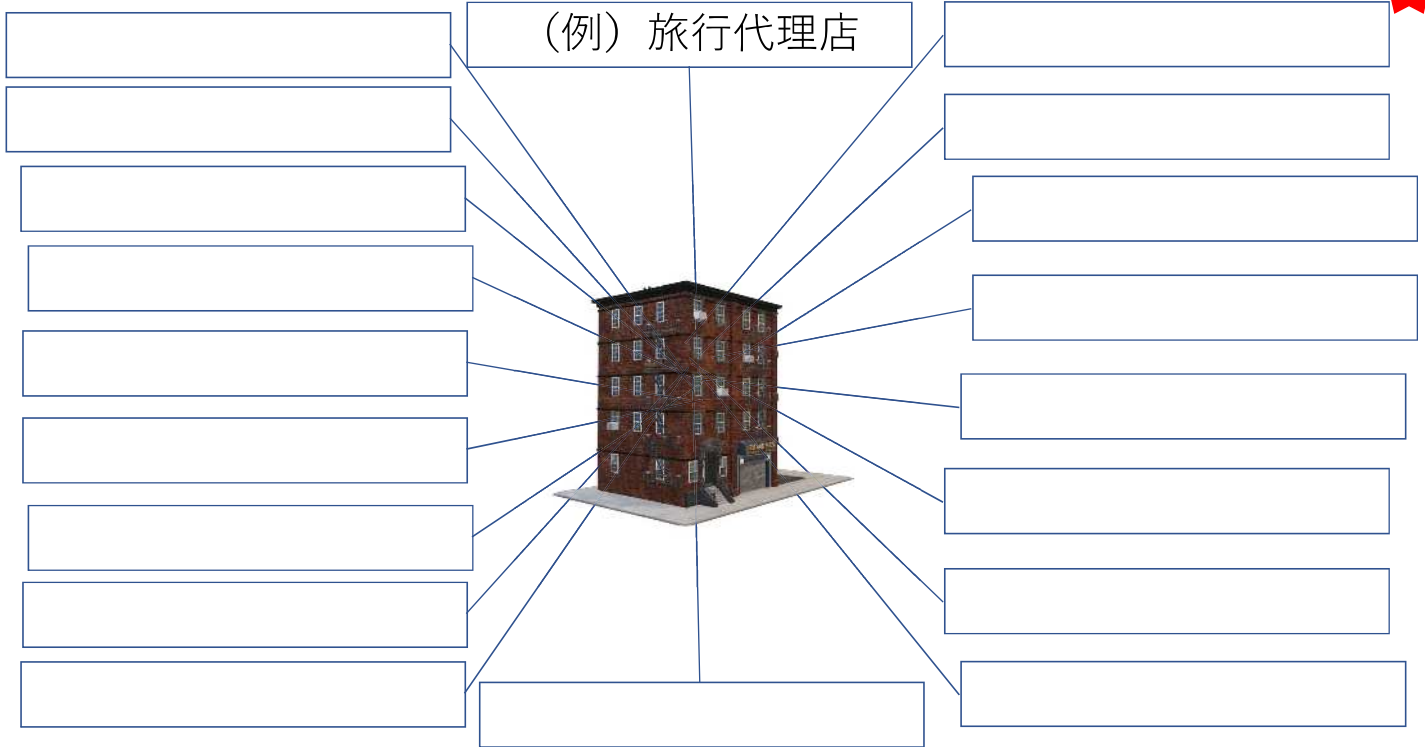
<サプライチェーンとは>

ある製品(サービス)が、原料の段階(注文)から消費者(享受)に至るまでの全過程のつながりのこと。供給網。

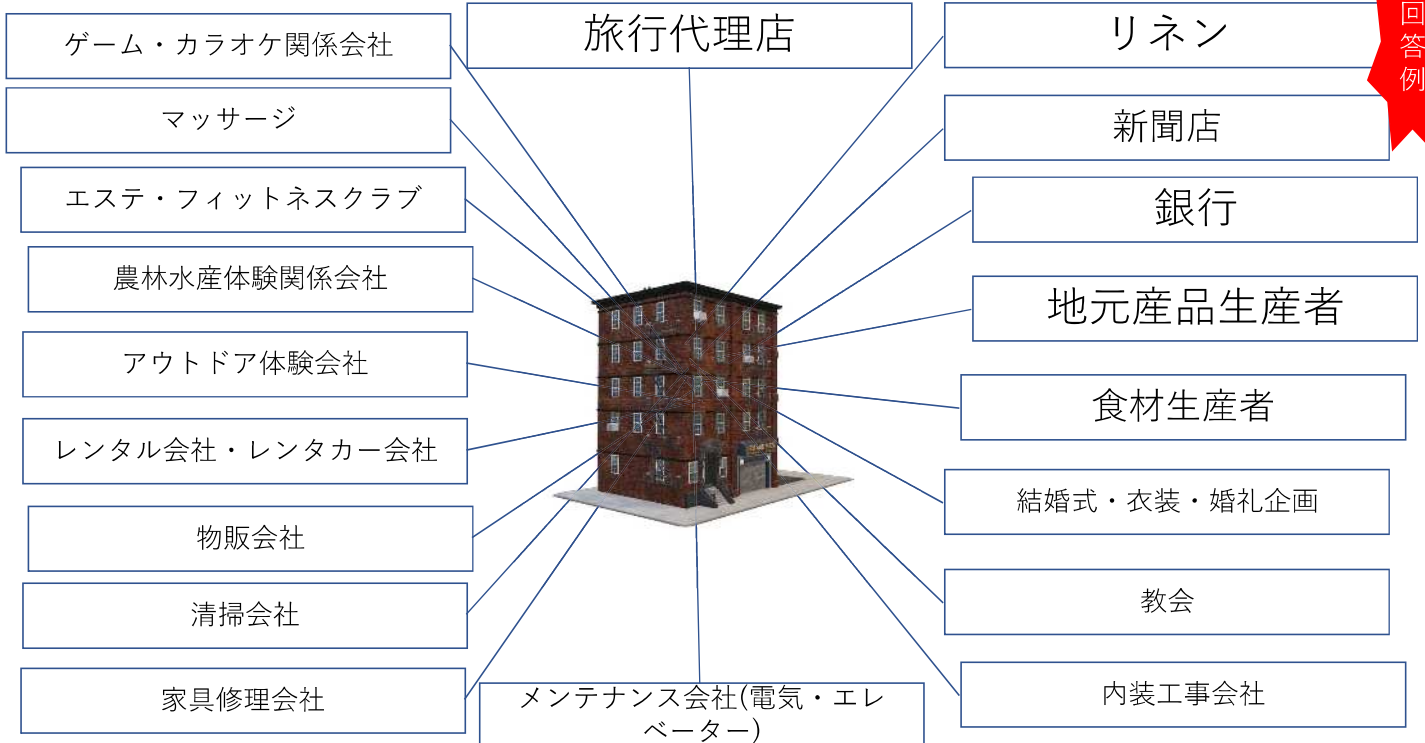
ある意味、ホテルのもつ「ネットワーク」を知ることで、学校や子どものニーズで、そのネットワークのどこにつながれるれかを知る。また、双方のメリットをイメージして、協働活動としてつながることにより、地域・企業のメリットや効用を考える。

★これを考えることで、つながりの奥深さや意外な化学反応が期待できる。

GW1 ホテルにはどんなつながりがあるか、グループでいっぱい出してみよう



GW1 ホテルにはどんなつながりがあるか、グループでいっぱい出してみよう



ホテルのサプライチェーン



キャリア教育から見た職種の数々 (ホテルを職種別にみると、以下のような仕事があります)

宿泊部門

予約課、ドアマン、フロント、コンシェルジュ、ベルマン、ハウスキーピング

料飲部門

マネージャー、キャプテン、ウェイター／ウェイトレス、バスボーイ、スチュワード

オペレーター 内線・外線の電話交換

セールス 「宿泊」「料飲」「宴会」の営業販売

マーケティング 市場調査や顧客分析などを行い、宿泊プランやフェア、イベントなどの商品開発

宴会部門

婚礼企画、予約課、ブライダルコーディネーター、宴会サービス

広報 (PR) 新聞や雑誌などのメディアを活用し、宣伝

調理部門

ホットセクション、コールドセクション、ブッシャー、ベーカリー、ペストリー

「社会に開かれた教育課程」

コーディネーターとして、小中学校の授業の中で、地域に関わる内容としてどんなことを学ぶか知っておきましょう。

教科書より

小学校2年生
生活科

小学校3・4・5年生
社会科

横浜市立東山田中学校
ブロック学校運営協議
会発行

「まちの宝を学びに活
かす9年間」

「まちのたからマッ
プ」

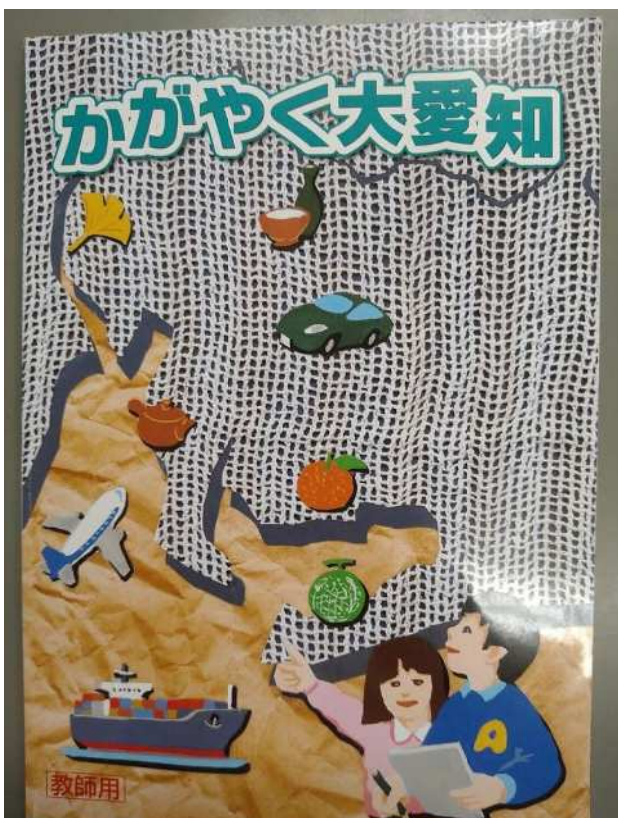
津島市内〇〇小学
校

まち探検等で訪問
する
地域の企業・事業
所等

月	学期	単元名	時数	小単元名	
4	1 学期 (36時間)	春だ 今日から 2年生 6時間	3	春を さがそう	
			3	1年生を むかえよう	
			3	野さいを そだてよう	
5		9時間	大きく なあれ わたしの 野さい	3	野さいの せわを つづけよう
				1	野さいを しゅうかくしよう
				2	野さいの ことを まとめよう
				外	秋や 冬にも そだてよう
				外	サツマイモを しゅうかくしよう
				3	まちの ことを 話そう
6		9時間	どきどき わくわく まちたんけん	2	まちたんけんの 計画を 立てよう
				3	まちたんけんに行こう
				3	見つけた ことを 教え合おう
	外			まちで さがそう	
	3			生きものを さがしに 行こう	
	4			生きものを とりに 行こう	
7	12時間	生きもの なかよし 大作せん	2	生きものを そだてよう	
			3	生きもの の ことを つたえよう	
			3	生きもの の ことを つたえよう	
9	12時間	うごく うごく わたしの おもちゃ	3	うごく おもちゃを つくろう	
			3	もっと くふうしよう	
			6	あそび方を くふうしよう	
			3	図書かんに 行こう	
			3	図書かんの ことを 聞いて みよう	
			外	行って みよう つかって みよう	
10	6時間	みんなで つかう まちの しせつ	3	まちたんけんの 計画を 立てよう	
			3	もう いちど たんけんに行こう	
			3	まちの 人と なかよくなるよう	
			3	なかよくなった 人の ことを しょうかいしよう	
			2	つたえたいな まちの すてきな できごと	
			4	つたえる じゅんびを しよう	
11	12時間	もっと なかよし まちたんけん	3	もっと くわしく しらべよう	
			3	まちの すてきを つたえよう	
			外	まちに つたえに 行こう	
			3	大きくなった 自分の ことを ふりかえろ	
			3	大きくなった 自分の ことを しらべよう	
			9	大きくなった 自分の ことを まとめよう	
12	12時間	つたわる 広がる わたしの 生活	9	大きくなった 自分の ことを まとめよう	
			9	ありがとう はっぴょう会を ひらこう	
			3	すてきな 3年生に ならう	
			3	すてきな 3年生に ならう	
			3	すてきな 3年生に ならう	
			3	すてきな 3年生に ならう	
1	3 学期 (27)	あしたへ ジャンプ 27時間	3	すてきな 3年生に ならう	
			3	すてきな 3年生に ならう	
			3	すてきな 3年生に ならう	
合計			105		

カリキュラムと 教育資源 (例:小学校2 年 生活科)

○津島市の先生方が作成した副読本「わたしたちの津島3・4年」
○愛知県作成では、「かがやく大愛知」という副読本



カリキュラムと教育資源（例：小学校 社会科）



小学校社会科						
3年		4年		5年		
月	単元名 時間数					
4	わたしのまち みんなのまち	わたしたちの県 11	わたしたちの国土 20			
5	16	住みよいくらしをつくる 24				
6	はたらく人とわたしたちのくら				わたしたちの生活と食料生産 25	
7	し 28					
8						
9						
10						
11						
12	くらしを守る 15	きょう土の伝統・文化と先人た ち 22	わたしたちの生活と工業生産 21			
1						
2	市のうつりかわり 11	特色ある地いきと人々のくら し 23	情報化した社会と産業の発展 16			
3				わたしたちの生活と環境 18		

「まちのたから」を学びに活かす9年間

※学：教育と学芸 習字：地域に出て学ぶ、校外学習

平成16、25年度課程（令和元年度）

4統合型小学校運営協議会を創設します 平成25年4月

統合型小学校の第一歩は、統合型運営協議会（統協）の創設です。統協は、統合型小学校の運営に関する協議を行うための組織です。統協の役割は、統合型小学校の運営に関する協議を行うこと、統合型小学校の運営に関する情報を提供すること、統合型小学校の運営に関する支援を行うことです。

「まちのたから」を学びに活かす9年間

統協は、統合型小学校の運営に関する協議を行うための組織です。統協の役割は、統合型小学校の運営に関する協議を行うこと、統合型小学校の運営に関する情報を提供すること、統合型小学校の運営に関する支援を行うことです。

「まちのたから」を学びに活かす9年間

統協は、統合型小学校の運営に関する協議を行うための組織です。統協の役割は、統合型小学校の運営に関する協議を行うこと、統合型小学校の運営に関する情報を提供すること、統合型小学校の運営に関する支援を行うことです。

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1	中2	中3
国語	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
算数	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
理科	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
社会	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
総合	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
音楽	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
体育	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
外国語	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
道徳	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
特別活動	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
家庭科	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
英語	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
キャリア教育	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間
その他	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間	「まちのたから」を学びに活かす9年間

土曜日、放課後の学び

「まちのたから」を学びに活かす9年間

クラブ（専修）

「まちのたから」を学びに活かす9年間

キャリア教育

「まちのたから」を学びに活かす9年間

学校の役割

横浜市立東山田中学校ブロック学校運営協議会制作

赤字が校内、青字が校外

「まちのたから」を学びに活かす 9年間 横浜市立東山田中学校ブロック学校運営協議会						東山田中学校ブロック地域学校協働本部（やまたろう本部）		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3
国語	ことばの調べ学習 料理で楽しむことば（地域の、食文化、歴史） 読書の楽しさ	ことばの調べ学習 まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	ことばの調べ学習 読書の楽しさ	ことばの調べ学習 読書の楽しさ	ことばの調べ学習 読書の楽しさ			
社会		まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ			
算数・数学								
理科								
音楽								
英語								
図工・美術								
技術家庭								
保健体育								
生活科・総合的な学習	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ			
遠征								
特別活動・学校行事その他	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ	まちのたから（まちのたから） 読書の楽しさ			
個別支援	個別支援（個別支援）							
土曜日放課後その他	土曜日放課後（土曜日放課後）							

カリキュラム部分の抜粋



横浜市立東山田中学校ブロック学校運営協議会制作

津島市内〇〇小学校に関わるボランティアや団体等

活動	関係団体	備考(R2年度)
見守り隊（下校時の付き添い）	老人クラブ	
授業支援	大学生ボランティア（市本部）	
野外教室支援・運動会支援	大学生ボランティア（市本部）	運動会中止
学習会支援	大学生ボランティア（市本部）・県立津島東高校	
「なかよし会」支援 10/27	老人クラブ 他	
1年「昔遊び」支援	祖父母	未定
2年「町探検」支援	保護者（PTA）	未定
2年「焼いも」支援 11月	保護者（PTA）、地域学校協働本部長	
5年「収穫祭」支援 12月	地域	
ベルマーク集計活動	保護者（PTA） <7.9.11.1.3月>	
読み聞かせ活動	保護者（PTA）	
学校ファーム支援 11月稲刈り	保護者（PTA）	
夏休み町別水泳見守り支援	保護者（PTA）	中止

児童が校外へ訪問する施設（例 津島市立〇〇小学校）

学年	訪問先	備考
2年生	〇〇園芸、 「町探検訪問先」 〇〇郵便局、新聞店、〇〇幼稚園 〇〇保育園、〇〇美容院、△△屋、 □□□福祉園、グループホーム、 △△物流	未定
3年生	スーパー、自動車部品製造会社、福祉施設、 デーサービスセンター、	中止
5年生	〇〇農業センター	

●訪問先との連絡・交渉、引率支援などの現状は？

津島市ボランティアセンター登録団体一覧
津島市社会福祉協議会 発行

省略

津島市役所 市民協働課 発行
公益活動団体・人材バンク(市HPにアップ済み)

省略

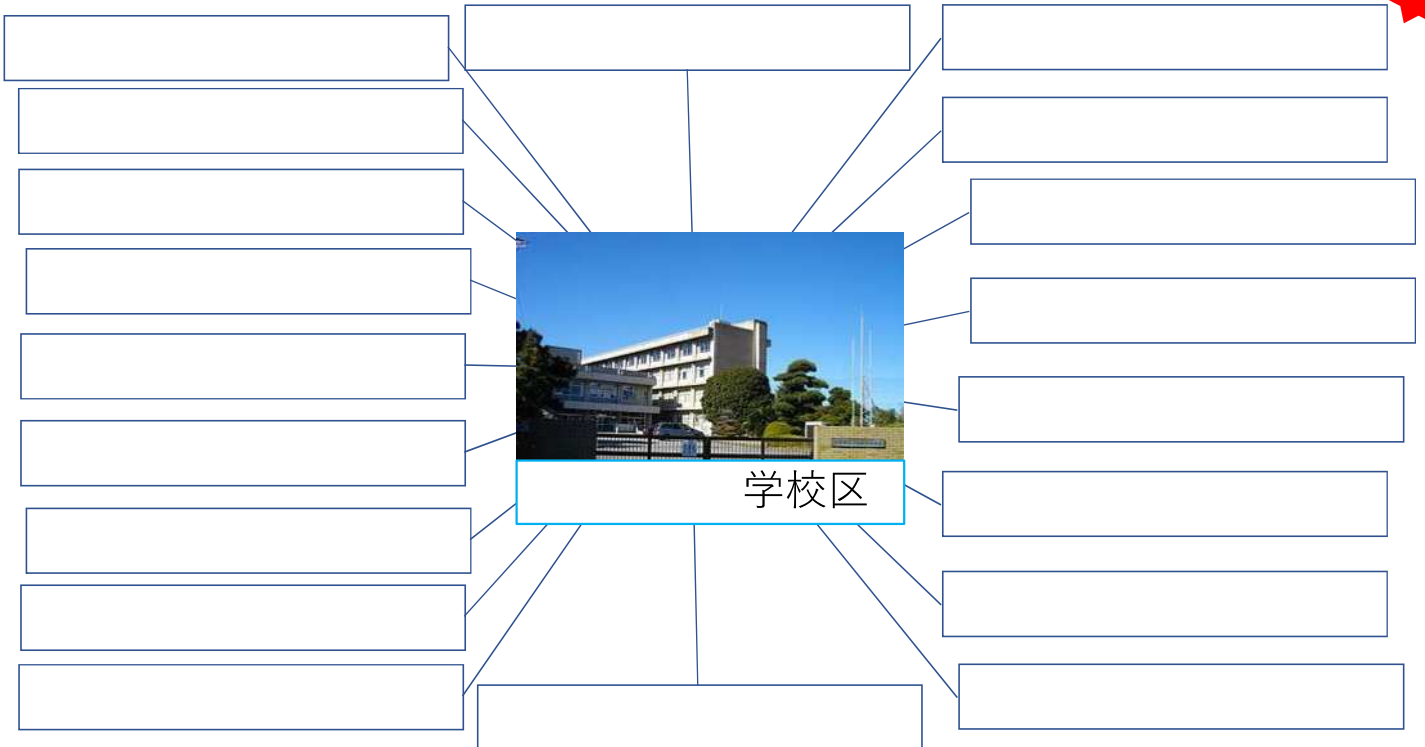
2. グループワーク「多様な主体との連携・協働体制を構築するには」 58分

ねらい 学校及び自宅のある地域において、教育活動に関わりのあると考えられる機関を整理するとともに、どのような連携・協働体制を構築し得るかについて検討し、実践できる素地を築く。

内容<58分>

- ①研修内容の説明（5分）・・・テーマの確認及び②～⑥の手順の説明を行う
- ②連携しうる機関の列挙（3分）・・・学校及び自宅のある地域において、教育活動に関わりのあると考えられる機関で**既に関わりのある機関はピンク色**に、これから連携しようとしている**機関には黄色の付箋**に、できるだけ多く列挙する（個人作業）
- ③グループ内での共有（15分）・・・付箋に記入したものをそれぞれ持ち寄り、グループ内で提示し合い、特色のある機関については、提示者が説明を加える。
- ④関係図の作成（20分）・・・模造紙に、③で確認した機関を貼り付け、**具体的にどのような連携・協働が取り組まれるかの想定案を、直線で結び、脇に記入**する。
- ⑤留意点に関する話し合い（5分）・・・**連携・協働体制を築くための留意点**について、④までの作業を踏まえつつ意見を出し合う。
- ⑥連携・協働に関する発表（10分）・・・⑤までの作業について、**代表者が発表**する（全グループ）

校区にはどんな教育資源（企業やNPO）があるか、いっぱい出してみよう（3分） 



校区の教育資源を共有しましょう（15分）

会社・NPO名	大まかな場所	事業内容	教育資源として	その他

どんな連携・協働ができるか？（個人5分→グループ15分）

	会社・NPO・機関名	教育資源として、どんな連携・協働ができるか？
1		
2		
3		
4		
5		
6		

連携・協働体制を築くための留意点は？ (グループ5分)

	会社・NPO・機関名	どんなことに配慮したり、気をつけたりするとよいか
1		
2		
3		
4		
5		
6		

3. まとめの講義「多様な主体との連携・協働体制を構築する際のポイント整理」10分

ねらい グループワーク(GW)を受けて、本時の活動を整理し、各自が身につけなければならない事象を自覚するとともに、率先して連携・協働体制の構築に携われる力を養成する。

内容

- ①GWにおいての様子や発表を受けて、見落している点やさらに望ましい状態となるには、どのようなことが考えられるかについてまとめていただく。
- ②本時の内容から、とりわけ重要な事象についてまとめていただく。

企業・NPOとの留意点 1

	会社・NPO・機関名	連携・協働を築くための留意点
1	NPO ▼▲○■	<ol style="list-style-type: none"> 1 知的財産権のあるノウハウ、ツール、情報を使用する時に、金銭が発生するので、まず予算の範囲内かどうかを確認する。 2 NPOの中には、最初は無料で対応し、2回目以降、経費がかかる場合もあるので、確認する。 3 NPOの対応については、市民協働課の情報も参考に！
2	企業のボランティア活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 CSR(企業の社会的責任)として、地域貢献活動を推進している会社ならば、金(寄付)・もの(生産品)・人(社員)等の提供が可能かどうかを確かめる。 2 会社がボランティア活動をしていない場合は、協働本部自体が、営利的な活動団体ではなく、また、次世代(子どもたち)育成や地域づくりに尽力している団体の存在を知らせる広報的な場としても活用する。
3	企業の担当部署 *大きな会社は依頼内容によって担当部署が異なる	<ol style="list-style-type: none"> 1 こちら側のニーズ(企業に対してどんな支援を求めているのか?)を聞かれる場合があるので、事前に、依頼事項を学校と協働本部でまとめておくこと。また学校ニーズで、会社見学や体験活動を依頼する場合は、対象学年・時期・時間・目的・責任者等、「依頼事項書」のようなものがあると、会社としても対応が早いと思われる。

企業・NPOとの留意点 2

	会社・NPO・機関名	連携・協働を築くための留意点
4	企業の社会貢献の目的	<p>企業は、商品、あるいは、サービスとして提供するものが、人々のニーズを満たしたり、満足を高めるものでなければならないと考えている。そのため、ボランティアに関与する社員も、活動に参加することで幸福感や充足感が得られることが望ましい。つまり、企業にとっても社員の人材育成の場になり、会社を堅牢にしていくという循環が生まれると考えている。</p>
5	企業のボランティア活動推進に対する2つの構え	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業がボランティア活動に参加を促すのであれば、それは企業活動の一環であり、業務とみなすべきであるという立場である。そのため、社員は、参加にあたって上司の許諾を得たり、実施報告書を提出するといった通常業務と同様の義務を負う。 2 企業は参加を促進する情報提供は行うが、ボランティア活動とは、個人が任意で行う活動であり、余暇を使うことが前提であるため、あくまでも就業時間外で行うものとする立場である。
6	企業側の目的を確認すること	<p>より良い社会をつくる貢献活動としての捉えか、宣伝や売上向上(売名行為)のためだけを目的としていないかを、常に意識すること。(売名行為が主な目的ならば、受け入れを遠慮していただくことも必要)</p> <p>【456出典：社員による企業ボランティア参加に関する現状と課題 2016年11月発行 一般財団法人全国勤労者福祉・共済振興協会】</p>

企業・NPOとの留意点 3

	会社・NPO・機関名	連携・協働を築くための留意点
7	企業ボランティア活動の背景	「サードプレイス」という言葉が使われるようになってきた。家庭（ファーストプレイス）や職場（セカンドプレイス）以外で、人生を充実させられる自分の居場所という意味で、自宅と職場以外に自分の場所を見つけたいと考える人が増えてきたことが、人々がボランティア活動を始める背景にあると説明している。【参照：毎日新聞「ボランティア活動に積極的な従業員を企業が手放さない理由とは！」】
8	企業ボランティアの利点	ボランティア活動など外部とのつながりを持っていたり、さまざまな経験をした従業員は、多様性や幅広い知見を有する傾向にある。そのため、従業員にボランティアをしてもらうことは、優秀な人材の確保にもつながる。地域社会からの信頼確保により企業としてブランドが強化できたり、従業員が自社に誇りを持てたりと、社内外へのブランディングになるという利点もある。このようなことから、ボランティア活動に参加する従業員を、企業が大切にす流れが国内外で広がっている。 【厚生労働省 従業員のボランティア活動支援のすすめ 2020.3発行】

企業・NPOをどう生かすか 1

	会社・NPO・機関名	教育資源として、どんな連携・協働ができるか？
1	相手との信頼関係づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 依頼に行く場合は、協働本部の活動内容が分かるものや名刺を準備する。 2 相手の担当者名や今後の連絡先を尋ねる。 3 対等の関係をつくる。 4 ボランティア保険加入や交通費、講師料等の確認
2	コーポレートシチズンシップ（企業市民）は、経営戦略の一環として一気に拡大していく傾向が出てきている	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業格付けの材料として社会貢献の充実度を用いている。 2 持続的で賢明な経済社会発展を達成するため、法令遵守、環境配慮や地域貢献等の社会的責任を果たす企業に対して応援の意図を込めて投資を行う「社会責任投資」の試みも始まっている。 3 投資の有効性（例えば、社会貢献企業の平均株価は全上場企業の平均株価以上である）も実証されつつあり、WEBでの情報発信も活発である。 4 地域リーダーとなる地域企業や市民団体、行政が目的を共有して集うことによって、さらには地域社会に向けたイベントやWEBによる情報発信等を行うことにより、ネットワーク自体が身近な地域社会全体のボランティア推進をリードする象徴的な存在となり、社会的気運醸成を促進する効果が期待できる。このような地域企業が連合体となって、「社会貢献推進会議」を開いて、地域の活性化に寄与している。 【1,2出典：文科省生涯学習政策局社会教育課】

「多様な主体との連携・協働体制を構築するには」

各学校の校長・教頭先生や教務主任の先生に、各校で実施されている学校行事や学年行事、生活科や総合的な学習の時間で、地域と関わっている授業や行事を確かめてみましょう。どんな団体の人が、どんな関わり方をしているか。そして、従来のつながりを大切にしながら、地域の子どもの多様な学びのために、地域の教育資源で、生かすことができる情報を学校へ提供しましょう。そこから、いよいよ地域と学校の協働活動がスタートしていきます。

すべてはコーディネーターさん方のビジョンと情熱とご尽力なくしては実現しないことなのです。「無理せず、楽しく、サスティナブルで」

本日は、長時間にわたり、お疲れ様でした。
ありがとうございました。
アンケートにお答えください。

地域コーディネーター研修会 事後アンケート R2.7.15

氏名

1 研修前と比べ、次の事項について、どの程度理解が深まりましたか？
あてはまる番号を「理解の深まり」の欄に記入してください。また、選択した背景や理由もお書きください。

1 とても深まった 2 やや深まった 3 あまり深まらなかった 4 全く深まらなかった

必要な知識・技術	理解の深まり	選択した理由（可能な限り記入してください）
①多様な主体との連携・協働に関する知識・技術について		

2 本日の研修を終えて、さらに学びたいことや他の内容で学びたいことを具体的に教えてください。

津島市での研修の事後アンケートから

今回のこの研修会を津島市で2020年7月15日（木）に実施しました。その時の地域コーディネーターさん方の感想です。

- まだまだ地域のことを知らなさすぎるので、もっと地域を勉強していきたいと思いました。
- 津島や中学校区のことを深く知る必要があると思いました。
- 一つのホテルでもこれだけ多くの仕事と繋がっていると思うと、他のことでも同様の関係があるので、日々勉強していきたい。
- 校区には、気づかないだけで、たくさんの企業があると知り、子どもへの様々な可能性やつながりのために、学びの必要性を感じました。
- 具体的な事例を伺い、協働活動が想像しやすかった。今後活かすヒントになりました。
- 活動するにあたり、いろいろな活動の選択肢が広がった。